

加藤学園高校ニュース

平成22年5月27日 加藤学園高等学校広報部発行 第23号

第六十一回卒業証書授与式が挙行 される―三月一日(月)五〇二名が巣立つ―



卒業生の胸のコサージュは2年生からのプレゼント



総合学部卒業証書授受代表 人見 明世さん
(GⅢ4・三島北上中)



特進部卒業証書授受代表 小林 大輝君
(SPⅢ2・浦原中)



先生方も様々な想いを胸に答辞に聞き入る



田中裕希さん(GⅢ3・長泉中)による答辞



勝又幹太君(現PⅢ2・長泉中)による送辞



担任の先生と一緒に門出の記念撮影



3年間の感謝を込めて花束の贈呈



最後の終礼の様子

卒業式

学校長 加藤 瑠美子

生徒の皆さん方の成長を追いかけておりますとあつという間に卒業式を迎えます。今年も卒業式を迎えるまでの月日の流れは、殊更早く感じられました。

考えてみますと、三年生が登校する期間は、実質には十月月しかないからなのでしょう。その短い中で、自己の進路希望の実現に全力を傾けなければなりません。また、数多くの学校行事についても最上学年として範を示さなければならぬ重責も負っております。

大変なことも多かったと思いますが、密度の濃い、充実した時間を過ごせたことでしょう。本校での三年間の経験を糧に、これからの人生をより豊かなものとしてくれることと信じています。学園の応援団長として、皆さんの益々のご活躍を陰ながら声を枯らして応援を続けていきます。

毎年、本校の卒業式を「素晴らしい」「感動的だ」と賞賛してくださる多くの皆様に支えられて、今年も五〇二名の卒業生を無事送り出すことができました。

入学してきた時の幼く、まだあどけなさが残っていた一年生が、立派に成長を遂げ、輝かしい未来に歩き出す様子は「おかげさまで」の一言に尽きます。素晴らしい生徒にめぐりあい、つつがなく大空に飛び立つ子ども達を送り出すことがどんなに有難いことでしょうか。この思いを再び心に深く刻み、四月に入学してくる新入生を大切に三年間お預かりしたいと念じております。

カトガク歳時記 一月〜三月

進学部二年生理系生徒 大学見学会実施

一月二十日(水)に、進学部二年生の理系クラスの生徒達が進路研究の一環として神奈川県立神奈川工科大学の一日体験入学に参加した。

大学の概要説明を受けた後には、ホームエレクトロニクス開発学科の金井徳兼教授の体験講義を受講し、大学の専門的な学問の一端を体感した。昼食後、午後はキャンパス見学を行い、オール電化実験システムや近未来住空間実験室など、最先端の研究を行う諸施設を担当の方の丁寧な説明を聞きながらじつくりと見学した。



体験講義の様子



キャンパス見学の様子

送別会

二月二十四日(水)に三年生の送別会が開かれた。前半は生徒会製作のスライド上映の後、一・二年生がお世話になった三年生に感謝の気持ちを込めて「E X I L E」の「道」を合唱した。後半は、毎年恒例となっているスペシャルライブを堪能した。今年は、テ



在校生による合唱のプレゼント

レビでもおなじみの実力派芸人であるザ・パンチ、佐久間一行、東京ダイナマイトの3組が登場し、会場は大興奮と爆笑の嵐に包まれた。



ザ・パンチのライブの様子



東京ダイナマイトのライブの様子



ジャンケン勝者には豪華プレゼントが

同窓会入会式

二月二十五日(木)に本校の同窓会である真砂会入会式が開かれ、今年度の卒業生も真砂会会員約三万五千人の仲間入りを果たした。



卒業生代表による入会の言葉 (大川優雅君・SPⅢ1・御殿場中出身)

謝恩会

二月二十六日(金)に体育館にて謝恩会が開かれた。三年間お世話になった先生方へ感謝の気持ちを表すために、チアリーダー部・吹奏楽部・応援団による演技スライドの上映、加ト学ラッキキングの発表、全三年生による「いきものがかり」の「YELL」の合唱、記念品の贈呈などが企画され、大きな歓声と感動の涙が入り混じった心温まる素晴らしい会となった。

表彰式

二月二十六日(金)に講堂にて表彰式が行われた。



創業者賞 根上 歩さん (PⅢ1 裾野西中出身)



理事長賞 若林 桃さん (GⅢ3 熱海中出身)

在学中の三年間に各方面で活躍した多くの生徒が表彰された。



日本私立中学高校連合会賞 勝俣文菜さん (SⅢ2・裾野東中出身)



全国商業高等学校協会賞 田中沙織さん (CⅢ1・沼津第五中出身)



お世話になった先生方の入場



加ト学先生ランキングで盛り上がった



感謝の気持ちを込めて手紙を朗読



内務員の岡村さん、三輪さんへ記念品贈呈

Live at 加藤

吹奏楽部 第二十八回 定期演奏会開催される

一月十一日(月)に沼津市民文化センターにて吹奏楽部「Blue Wings」の定期演奏会が行われた。日頃の厳しい練習により培われたチームワークを十分に発揮し、三部構成の多彩なプログラムと息の合った演奏で、詰め掛けた多数の聴衆を魅了した。



第1部では吹奏楽コンクールで披露した曲を演奏



第2部はお揃いのシャツに着替えて軽快に



急逝したマイケル・ジャクソンの「スリラー」を披露



引退する先輩へ後輩から花束の贈呈



チアリーダー部も演奏会に花を添える



パーカッションパートによるショー



カラーガードが華麗な舞を披露



大迫力のドリル演奏

フォークソング部 第二十八回 合同発表会開催される

一月三十一日(日)に本校の講堂にてフォークソング部・軽音楽部合同発表会が開催され、本校のフォークソング部の他に、沼津工業高校、御殿場南高校、沼津中央高校の三校が参加した。各バンドが勢いのあるみずみずしい演奏を披露した。なお厳正なる審査を経て発表会後の表彰において



ベストドラマー賞を受賞した鈴木範信君



多数の聴衆が駆けつけて演奏に聴き入った



本校より出場した5つのバンドのボーカル それぞれ個性あふれるシャウトを披露した

本校の鈴木範信君(SPII2・沼津第四中出身)がベストドラマー賞を受賞した。

本校生徒二名が書道で 書道部会理事長賞を受賞

県書道連盟主催の第五十五回静岡県高等学校書道研究会東部地区新春作品展において、応募総数三千二百七十点の中から、松代紗季さん(SPII2・清水中出身)武井奈々さん(GII4・須津中出身)の二名が静岡県高等学校教育研究会書道部会理事長賞に選ばれた。



本校生徒の多くの作品が入選した



武井奈々さんの作品



松代紗季さんの作品

カトガククローズアップ〜活躍する在校生〜

柔道部

南口優太君、
県無差別級王者に

一月十六日(土)に全国高等学校柔道選手権大会県大会個人の部が開催され、本校男子柔道部の南口優太君(GIII・二島南中出身)が男子無差別級で見事優勝し日本武道館での全国大会に出場した。

今回の個人戦では南口君の本来の階級が実施されなかったため、無差別級への挑戦を決意した。

日々の過酷な練習を経て身につけたスタミナと精神力を武器に勝ち進み、ついに決勝に駒を進めた。体重わずか六十八キロの南口君は決勝で体重一二七キロの村山拓選手(市立沼津)と対戦。体重差をもろとせむに、序盤から得意の背負い投げを連発し、終始連続して攻め続けた。延長戦を経ての審判の旗の判定は二―一で南口君が勝利。挨拶の後、顧問の岡本先生・大石先生のもとへ駆け寄った。史上最軽量の無差別級王者となった南口君の今後の活躍に期待したい。



試合後、顧問の岡本先生・大石先生のもとへ駆け寄った南口君
(写真はスポーツ報知より提供)



無差別級決勝 対戦相手に一本背負いを仕掛ける南口君
(写真はスポーツ報知より提供)

瀬戸滯奈さん

国際一輪車競技大会に出場
年代別各部門で上位を独占

十二月二十七日から一月七日まで、ニュージーランドで開催された第十五回国際一輪車競技大会に瀬戸滯奈さん(GII・裾野西中出身)が日本代表選手として出場した。

四歳の頃から一輪車を始めた瀬戸さんはこれまで多数多くの大会に出場しており、また本校の暁野祭文化の部においても驚愕の一輪車パフォーマンスを披露している。今回の世界大会でも臆することなくその実力を発揮し、トラック競技、ロードレース、演技(ソロ・グループ)などの各部門などでいずれも素晴らしい成績を残した。



表彰式の様子(中央が瀬戸滯奈さん)

チアリーダー部

全国大会四位に

三月に千葉県幕張メッセで開催されたチアリーダーの全国大会「USAナショナルズ二〇一〇」ソングリーディング・Pom部門において本校チアリーダー部が見事全国第四位に輝いた。毎年着実に成果をあげているチアリーダー部であるが、今大会は「全国の表彰台に上がりたい」という共通の目標を部員全員が心に秘めて日々の厳しい練習に耐え、表現力や技術、そして強い精神力を身につけてきた。大会本番では課題を克服したこれ以上ない演技を披露し、ついに念願の表彰台に立った。さらなる高みを目指しつつ、いつも本校を盛り上げてくれるチアリーダー部にエールを送りたい。



笑顔をお忘れず、仲間を信じて



顧問の藤澤先生を囲んで記念撮影



表彰式の様子 トロフィーを受け取って感無量



2分半の演技を完全燃焼で乗り切った